

令和5年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー

活動報告（7月～9月）



総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）とは、地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に
応じた様々なスポーツ機会を提供する、『多目的』『多世代』『多志向』のスポーツクラブです。福井県内
には27の総合型クラブがあります。（令和5年7月現在）昨年度から始まった登録・認証制度は25の
クラブが申請し、予備登録をしました。

クラブアドバイザーは、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすると共に、登録・認
証制度に向け、持続可能なクラブづくりを目指せるように活動しています。

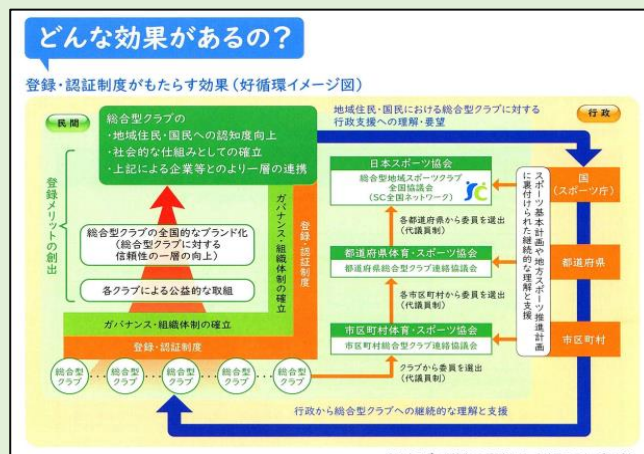
7月

<登録・認証制度正式運用に向けた巡回指導>

来年度から、登録・認証制度の正式運用が始まります。登録・認証制度の狙いは、総合型
クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たし
ていくために、活動実態・運営実態・ガバナンス等についての基準を設けることです。

現状は、行政機関や関係団体等の連携や理解は低迷しており、登録・認証制度に期待され
る施設利用の優遇や、会員増加につながる部活動地域移行の受け皿としての進展もありませ
ん。総合型クラブにもPR活動や制度の理解促進などの取り組みが必須ですが、アドバイザー
として各市町行政への丁寧な説明を心掛けて日々の巡回活動を実施しました。

また、本年度から制度運用には専用システムを利用することになっており、PC作業に不
慣れな方やスタッフの高齢化が進んでいるクラブには、福井県スポーツ協会の総合型クラブ
担当者と協力し、各クラブの申請がスムーズに進むようサポートをしました。



※日本スポーツ協会にて想定している効果のイメージ図です。

8月

<県内クラブイベント視察>

コロナによる規制も少しずつ軽減され、県内各クラブではイベント企画も多くなっています。地域の方の参加も多く、スポーツを楽しめているようです。

このような企画は、各市町の総合型クラブならではの事業であり、今後も地域との関わりを持ちながら「まちづくり」に寄与できるクラブの育成に努めます。



ポッチャ大会



卓球バレー体験

<障がい者スポーツ体験教室>

県内では「共生社会」の勉強ということで、小学生を対象に「障がい者スポーツ」の出前講座（しあわせ福井スポーツ協会主催事業）を実施しています。ポッチャ・フライングディスク・卓球バレー・陸上（伴走）・車いすバスケット等様々な障がい者スポーツの体験を通して、障がい者の目線を学んでいます。

この「共生社会」は良いキーワードだと感じており、総合型クラブがそれぞれの地域に根付くことで1つの活動場所になり、子どもから高齢者・障がいの有無に関わらず一緒にスポーツを楽しめる場所ができ、「共生社会」の実現に貢献出来ると思います。引き続き市町行政や関係団体との連携を模索しながら、総合型クラブ可能性を示したアドバイスを心がけてゆきます。



伴走体験の様子

9月

<福井県スポーツ地域ミーティング>

9月30日に越前市商工会議所で「福井県スポーツ地域ミーティング」が開催されました。この事業の狙いは、将来に向けて地域のスポーツ環境づくりの重要性を考えるものです。今年度は、将来に向けた子ども達のスポーツ環境づくりに焦点を当てた内容で、少子化の影響やスポーツ離れ、二極化、体力低下等、子ども達の環境も大きく変化しています。

学校部活動の地域移行も視野に入れ、それぞれが知恵を絞る時期が来ているようです。参加者した総合型クラブ・スポ少・市町行政などそれぞれの立場から意見交換をしました。参加者（行政・総合型クラブ・スポーツ関係者等）



横井氏講演



大久保氏講演



意見交換の様子